

# 市川市住居表示審議会

## 会議録

審議会等の名称	平成30年度第2回市川市住居表示審議会	
開催日時	平成31年3月18日(月) 午後2時00分から午後3時10分	
開催場所	市川市仮本庁舎4階 第1委員会室	
出席者	委員	朽木会長、森谷副会長、阿多委員、饗場委員、菅原委員、山崎委員、山田委員(代理人出席)、大和田委員、杉山委員、(大槻委員は欠席)
	所管課	大津総務部長、植草総務部次長 総務課：中澤課長、吉田副参事、 寺沢住居表示担当副参事、市川主査、池田主任
	関係課	

### 1. 開会

#### 【朽木会長】

定刻となりましたので、平成30年度第2回市川市住居表示審議会を開会いたします。まず事務局の方からよろしくお願いいたします。

#### 【寺沢副参事】

はじめに大槻委員ですが、業務多忙のため本日欠席との連絡を頂戴しておりますので、初めにご報告させていただきます。

つぎまして、平成30年8月に人事異動により総務部長が変わりましたので、議事に入ります前に総務部長の大津よりご挨拶申し上げます。

#### 【大津部長】

紹介いただきました総務部長の大津と申します。昨年8月に総務部長に着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。本日は3月の年度押し迫ったなか、皆さんお集まりいただきまして、大変感謝申し上げます。審議の開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

稲越町の住居表示につきましては昨年5月に諮問させていただきました。

その後、事務局の方で稲越町の住居表示にあたっては住民の皆様のご理解とご協力が欠くことができないということで、11月～12月に町名町割のアンケート調査を実施しました。その結果を踏まえて1月27日には稲越小学校におきまして62名の住民に集まっていただいて住民説明会を開催させていただきました。

そのなかでは非常に活発な質疑がありまして、貴重なご意見をいただくことができました。

そのご意見もご審議のなかで説明させていただき、参考としていただきながら審議を深めていただければと考えております。

簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**【寺沢副参事】**

以上です。会長どうぞお願いいたします。

**【朽木会長】**

それでは議事に移ります。傍聴人の受付を開始してください。

**【市川主査】**

傍聴人はおりません。

**【朽木会長】**

それでは稲越ブロックの進捗状況について、事務局より報告をお願いします。

**【寺沢副参事】**

本年度の住居表示整備事業についてお手元の資料を見ながら説明いたします。

まず、資料1「稲越ブロック進捗状況報告」をご覧ください。昨年5月9日に第1回住居表示審議会で稲越ブロックの町名・町割に関して市長から諮問させていただきました。町名は従前の稲越とする案を提示させていただき、町割は主要な道路と面積のバランスを考慮した三丁目案を提示させていただきました。

その後、5月30日に稲越自治会の会長、副会長を含めた5名の役員の方々に住居表示の制度、町名案、町割案、今後の流れについて説明いたしました。そのなかで、自治会としては住居表示の実施について前向きであるとのご意見をいただきましたが、同時に町割について一丁目と二丁目の境には旧来からの農家が多い地域であり繋がりも強いいため、反発があるかもしれないというご意見がありました。

6月23日には稲越自治会の約30名の理事が集まる理事会にて冒頭の30分をお借りして住居表示の制度、町名案、町割案、今後の流れを説明いたしました。このときは理事会の進行の関係上、この場での質疑応答はせず、後日に対応するということになりました。

その後、8月27日に稲越自治会より住居表示に関する質問書が届きました。その内容は「現在の住所の問題点や住居表示のメリット・デメリットを詳しく説明してほしい」というものや「住居表示実施後の住所変更の手続きについてより具体的に説明してほしい、費用がかかるものとかからないもの、登記の仕方、一人暮らしや要援護者への対応」など様々なご意見、ご質問をいただきました。

9月28日にはその質問書に対し稲越自治会有志の方を対象に勉強会の形で回答いたしました。

10月27日には再度、稲越自治会にて理事会の冒頭30分で9月の勉強会の内容を中心に説明を行いました。その際、自治会長より「次回の11月24日の理事会のときに町名・町割アンケートを各理事に配布し、その次の12月22日の理事会で回収をしたらどうか」と提案がありました。

この提案を受け11月24日から12月22日の町名・町割アンケートを稲越自治会の全面協力のもと執り行うことができました。

年が明けて1月27日には稲越小学校の体育館で稲越町の住民を対象にした住民説明会を開きました。62名の住民が集まり、委員の皆様事前に送付させていただいた資料を元に説明をいたしました。質疑では各種地図への反映、住居番号の付け方、住居表示審議会に関する事、町名に関する事、町割に関する事など様々なご意見、ご質問がありました。現時点で回答できるものとそうでないものがありました。

ので、回答できないものは課題として持ち帰ることとしました。

質疑回答の内容は資料5「住民説明会質疑記録」のとおりとなります。

本年度の事業報告は以上となりますが、半年以上をかけて地元への説明を行ったため前回の審議会のときに提示させていただいていたスケジュールを大幅に変更することになりました。

続きまして資料2「稲越ブロック実施スケジュール(案)」をご覧ください。現在のスケジュール案としては、本日の審議ののち、新年度の6月頃にもう一度審議会を開きます。ここでさらに審議を重ねていただき、8月頃には現在諮問中の稲越ブロックの町名、町割について答申をいただければと考えております。その後、9月頃に住居表示に関する告示をします。この告示の後30日間は住民が変更請求をできる期間となります。変更請求が無ければ12月議会で町の区域及び名称の変更に関する議案を市議会に提出し審議のうえ議決をいただこうと考えております。議決によって町名と町割つまり〇〇×丁目が決まりますので、その後約1年をかけて各建物、各世帯、個人個人の世帯調査、建物調査を含めた住居表示実施委託で住居表示を決めてまいります。そして住居表示の実施は2021年2月に行いたいと考えております。前回の審議会のときには2020年2月か3月に実施をしたいとしておりましたので、約1年遅れるということになります。

事業を進め地元住民へ説明をするなかで今まで見えなかった課題も見えてきました。資料3「新たに増えてきた課題」をご覧ください。

まず町名についてです。前回の審議会で「稲越という地名は江戸時代からあります」という話をしましたが、読み方については変わっていたようです。「市川市字名集覧」という市内の大字、字の情報を集約した資料には「いなこし」となっており濁りません。現在の稲越町は「いなごしまち」となっており濁るのです。読み方についても今回、町名を議論するなかで決めていければと考えております。

次に町割についてです。前回の審議会で主要な道路で割った3丁目案を提示しましたが、同じく前回の審議会で会長より「1丁目と2丁目は旧字界に合わせた町割もあってもよいのでは」というご意見がありました。また、5月に稲越自治会の役員に事業の説明をしたときに「1丁目と2丁目の境界には旧来の住民が多く、ここで町割をすると反発があるかもしれない」というご意見もありました。

町名の読み方と町割案を3案にして地元住民のご意見を伺ったのが、町名・町割アンケートです。11月から12月に稲越自治会会員向けに行い、1月の住民説明会出席者に対しても実施しました。アンケートの結果は後程説明いたします。

さらに町名・町割アンケートや住民説明会を行うなかで、町名については少数ではあるものの「稲越以外の名前がよい」という意見があること、町割については「3案以外にもよい町割があるのではないかと、3案はすべて南北道路を使う縦割りの案だが、東西道路を使う横割りの案があってもよいのではないかと」というご意見がありました。

そして市の関係課や外部の関係機関と詳細についてさらに詰めていかなければならないということも課題として出てきました。

これらの課題に対し今後の取り組み方についてですが、まず町名、町割については、アンケート結果を参考にしていただき審議のうえ答申をしていただけたらと思います。町割については例えば次回の審議会のときにさらに詳細を確認するため現地を視察してもよいかもしれません。

関係課、関係機関との協議は順次進めてまいります。

住民に対しては説明会ではなく、相談会という形で関わっていこうと考えております。これは1か月に

1, 2 回程度、日にち、時間、場所を予め決め、稲越町に出向き住居表示に関する相談を受けるというものです。場所の候補としては稲越自治会館や稲越小学校、道の駅いちかわです。今後詳細を詰めていきますが、住民への周知方法は広報紙や市ホームページにて周知しようと考えております。

最後に町名・町割アンケート結果を報告いたします。資料 4「町名・町割アンケート結果【稲越ブロック】」をご覧ください。

アンケートの対象は稲越町の住民で、期間は自治会へのアンケートが 11 月 24 日から 12 月 22 日、説明会でのアンケートが 1 月 27 日です。

1 ページをご覧くださいと思います。男女ほぼ同数で偏りはなく、年齢は 70 歳代が最も多く 60 歳代 50 歳代と続きます。

設問 3 町名については「稲越がよい」、「稲越以外がよい」という 2 択ですが、「稲越がよい」が 93% でした。

次に 2 ページの設問 5 は稲越の読み方について、「いなごし」か「いなこし」で濁るのか濁らないのかという質問の回答です。「いなごし」濁る方が 59%、「いなこし」濁らない方が 34% でした。

つづいて同じページの設問 6 は町割案 1~3 のうちどれがよいか、またそれ以外かという質問の回答です。案 1 は前回の審議会で提示させていただいた事務局案です。案 2 は前回審議会のときの朽木会長のご意見を参考に 1 丁目と 2 丁目の南側の境界を旧字の境界にしたものです。案 3 は 1 丁目と 2 丁目を合体させたもので、旧来の地域のコミュニティを分断しないよう配慮したものになります。

結果は案 1 が 42%、案 2 が 29%、案 3 が 19% となりました。

つづいて、3 ページをご覧ください。設問 4 は町名について「稲越以外がよい」と回答があったもののうち別の名称の案を書いてもらったものです。様々な案がありましたが、「梨」「丘」など地域の特性を示したものと「希望」や「展望」などプラスイメージのものがあり、旧村名の「五常」や、読み方は変えず漢字を変えた「伊奈越」などがありました。

次に 4~7 ページです。設問 7 は案 1~3 とは別の町割案、設問 8 は住居表示に関してのご意見を聞く内容でしたが、実に様々なご意見がありました。

ですので、関連しそうな意見を 8 つに分類し、①町名に関する意見（稲越がよい）、②町名に関する意見（稲越以外がよい）、③町名に関する意見（その他）、④町割に関する意見、⑤住居表示に賛成の意見、⑥住居表示実施に関する意見、⑦住居表示に反対、今のままでよいという意見、⑧住居表示以外の意見 に分類しました。

特筆すべきは住居表示に反対、今のままでよいという意見が 24 件寄せられているという点です。個人の住所が変わるということでその手続きをする時間を取れないというご意見を多くいただきました。今後、丁寧に説明を重ねていきたいと思っております。

いただいたご意見を 1 つ 1 つ紹介したいところではありますが、後程ご確認いただければと思います。

以上で本年度の事業報告を終わります。

#### 【朽木会長】

今の事務局からの報告で不明な点やご意見はありませんか。

住民説明会にご参加いただいた委員もいらっしゃることなので、そのときの様子などもお聞かせいただければと思います。いかがでしょうか。

【朽木会長】

確認よろしいですか。資料4の町名・町割りアンケートというのは資料1にある、平成30年11月から12月にかけて行われたアンケートの結果ということでよろしいですか。

【寺沢副参事】

平成30年11月から12月に実施したアンケート結果に加え、平成31年1月27日に実施した住民説明会にて実施したアンケートを合算したものです。

【朽木会長】

アンケートの内容としては同じ内容でしょうか。

【寺沢副参事】

同じ内容です。

【朽木会長】

同じ人が二回回答している可能性もありますか。

【寺沢副参事】

可能性はございます。

【菅原委員】

先ほどの説明のなかで住居表示に反対という意見が24件という話がありましたが、この内容はアンケートによるところの設問8についての24件ということでよろしかったでしょうか。

【寺沢副参事】

設問に限らず、アンケート内に記載された自由意見を意見の方向性ごとに分類し、「反対」についての意見をまとめたものが24件です。

【菅原委員】

では、アンケートを回答してくださった方のうち、24件以外の住民については住居表示実施に関して肯定的に受け止めていただいているという理解でよろしいのでしょうか。

【寺沢副参事】

住民の様々な意見の一部であると思いますが、概ねそういったことが言えるのではないかと思います。

【菅原委員】

極端な棲み分けまで示しているものではないということですね。

【寺沢副参事】

そうですね。

**【朽木会長】**

その他、いかがでしょうか。

**【朽木会長】**

菅原委員におかれましては、説明会にご参加いただいたというふうに聞いております。当日の様子とかお気づきになったところありましたらお聞かせ願いたいです。

**【菅原委員】**

何故説明会に行ったかというと、理由が二つあります。一つはウォーキングとして行ったということと、もう一つは、私は北方町四丁目に住んでいるものですから、後学のために説明会ではどのような推移をみせていただけるのかと思い参加しました。

参加された方々はとても熱心に聞いており、質問や意見を話されている印象で、とても住んでいるところを大事にしているなというふうな思いで聞かせていただきました。

**【朽木会長】**

反対派の人が多数を占めているといった、そのような雰囲気はありましたか。

**【菅原委員】**

全然そうではなく、お一人お一人の思いのなかから、例えば「ひばりが丘」って案が言われるとそれを受けてなんだろうって考えるようなところもありましたが、それぞれに思っているところを自由に話されているような、そんな印象をうけました。

**【朽木会長】**

わかりました。ありがとうございます。

**【朽木会長】**

他、ご不明な点やご意見などございますか。特段無ければ次に進ませてもらいます。

いかがでしょう。

次回の審議会をどのように行うか意見がありましたら伺いたいと思います。先ほど事務局より、町割り案についてさらに詳細な審議をするために現地を視察するという提案がございましたけれども、いかがでしょうか。平成 29 年度に一度現地をバスで回るといって行っております。

**【饗場委員】**

伺いたいのですが、一丁目というのは市川市から遠い順に一、二、三ですか。それとも松戸市に近いのが一丁目ですか。案 1 のなかで市川の中心に近いのは三丁目って見ていいんですか。

**【阿多委員】**

そうではなく、市川市の中心に近いところが一丁目ですね。

**【饗場委員】**

わかりました。それとですね、災害の時に大きな道路が近くにあると便利だと思います。あまり町の区域に幅ができてしまうと、連絡も取りにくいし、防災行政無線も聞こえないかもしれません。私は案1がよいと思います。災害や火事があった場合のことを考えての区割りの仕方がよいと思いました。

**【阿多委員】**

反対者の中に、町割りについて反対をしている方はいましたか。

**【寺沢副参事】**

こちらが提案した三つの町割案ですが、アンケートでは概ねこのなかで回答をいただいています。中には東西に分けてもよいのではないかという意見もありました。

**【阿多委員】**

アンケートの24件の反対意見を見ると町割りに対して強烈に反対する意見はないように思います。それよりも手続き的な部分で反対としている。

町割案も42%の方が第1案に賛成しているなかで、私たちからそれ以上具体的な案は提示できません。それよりも気になっているのは、町割に関して強烈に反対している方はいるのかという部分です。

**【寺沢副参事】**

今のところ関わっているなかで「強烈に」という印象はないですね。

**【市川主査】**

アンケートの結果について補足で説明をさせていただきます。

住居表示に反対・今のままでよいという意見が24件あるということについてですが、これは町名・町割アンケートの設問7と設問8に様々な回答があったなかで分類をしたものです。

まず、平成30年11月～12月に自治会向けに行ったアンケートのなかで寄せられたのが1番～23番の意見です。つづいて24番の意見については住民説明会で実施したアンケートで寄せられた意見です。

11月までは住民の皆様幅広く説明をする機会がなく、自治会中心の説明であったという部分があります。それが平成31年1月27日の住民説明会にて行ったアンケートでは反対意見が減っているという部分の見方もあるのではないかと考えています。

**【饗場委員】**

地名については、昔からの何か由来があるはずですが、「いなごし」と「いなこし」ではニュアンスもローマ字表記も違いますよね。地名ということですから「稲」に関することであるとか、「越える」といった部分があったのか。そういった部分から住民の方に説明できると分かりやすいのかもしれない。

**【市川主査】**

地名の由来について住民説明会のアンケートでも地名の由来が気になるという意見も出ております。事務局にて資料を調査しましたが、現時点では明確になっていないというのが実情であります。「市川市の町

名」という昭和 62 年に市川市教育委員会から出された冊子があるのですが、稲越町の項目を読み上げます。

「<sup>いなごしまち</sup>稲越町 地名の由来は不明です。稲越は江戸時代からあった村名。幕末の支配は幕府領。石高は 254 石あまりでした。明治 22 年に町村合併により、稲越村は五常村の大字となりました。昭和 26 年、大字稲越は稲越町と地名を変え、その区域は大字のころと同じです。」

これが「市川市の町名」に掲載されている全文です。稲に関する部分なのか、越えるに関する部分なのか、想像が膨らむところではありますが、町名の由来に関する部分は不明というところで、歯がゆいところ

です。  
事務局にて引き続き調査を進め、報告いたします。

#### 【饗場委員】

なにかお殿様の名前から決めたのか。面白い名前ですよ。稲越って。あまり思いつかないような。だから大事にしたい、残したいっていう住民の方の気持ちもよく分かりますよね。

#### 【阿多委員】

町名について 6 割近い人たちがこれでよいと言っているわけですよ。

#### 【朽木会長】

町名の読み方について、「いなごし」を支持している方が 6 割近いです。ただ、新しい町名について、「稲越がよい」か「稲越とは別の名称がよいか」で言うと、「稲越がよい」が 93%になります。

#### 【阿多委員】

そうですね。いなごし・いなこし含めればそうですね。

#### 【饗場委員】

「ひかり」だとか、今流行りの名前はもったいないと思います。稲越という折角いい名前があるのに。

#### 【朽木会長】

他に意見などございますか。

先ほどお尋ねしましたが、町割案を検討することについて具体的にどのような審議を進めていくか、何かご意見ありますか。現地視察を入れるか、あるいは不要と考えるか。

一応、実施スケジュール案では次年度 6 月に審議をして、実際の答申はその次の 8 月を予定しているというところでよろしかったでしょうか。

#### 【寺沢副参事】

そうです。

#### 【朽木会長】

今回のような会議形態の審議か、現地視察を踏まえてのものが良いのか。

**【阿多委員】**

私は一度現地に行っただけでこれ以上良い提案ができるかという自信がないです。

やっぱり案1が自然だと思います。国分高校のところ町割をし、東側の区域は1丁目に入れた方がいいと思うんですね。そうすると案1が自然なのではないか。

賛成者も42%が一番多いですね。住んでいる人の考えを聞いたものがこれですから、我々からこれ以上の対案を出すのは難しいです。

**【大和田委員】**

自治会の中の班割があると思うんですけど、それと一致していると問題ないのではないかと思いますので、いかがでしょうか。

**【寺沢副参事】**

その点については自治会長とのやり取りの中で、住居表示を実施した後に改めて班割の再編成を考えているようです。

**【大和田委員】**

自治会の意見としてということですね。

**【寺沢副参事】**

そうです。

**【大和田委員】**

承知しました。

**【朽木会長】**

先ほどの説明のなかで出てきた古い農家の結びつきについての話があったかと思いますが、そちらのは大丈夫なのでしょうか。

**【寺沢副参事】**

町割案の部分で国分高校の東側の通りの両脇に農家があるんですね。ここを一丁目と二丁目の町割りとすると、同じ農家であっても片や一丁目、片や二丁目ということが出てくるということを、早くから自治会から意見をいただいております。

原則に則り主要な道路で区切るとしたら、このお示ししている案が一番良いのではないかといいところはあります。

**【朽木会長】**

なかなか取りまとめが難しいところでもありますので、次回の審議形態について視察に行くか否か、決を採らせていただければと考えますが、いかがでしょうか。

ではお伺いしたいと思いますが、現地にもう一度視察に行ってから決めるべきだと思われる方はどれくらいおられますか。

《挙手：0人》

0人でよろしいでしょうか。

では、次回も会議形態での審議でいきたいと思います。事務局としてはよろしいでしょうか。

【寺沢副参事】

はい、結構でございます。

【朽木会長】

それでは、他に質問やご意見はございますか。なければ次回について事務局の方から連絡をお願いします。

【寺沢副参事】

本日はありがとうございました。次回の会議は6月頃に開催をしたいと考えております。形式は会議形態でお願いします。このときには答申案に向けた具体的な検討になるものと思っております。日程については新年度改めて調整を行った後に、通知を差し上げたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議録につきましては前回と同様に事務局で作成した後に皆様にお送りさせていただきますので、ご確認のほどお願いいたします。

【朽木会長】

他に何かございますでしょうか。

なければこれにて本日の会議は終わりにしたいと思います。それでは閉会といたします。ありがとうございました。